

HOLA! (オラ = こんにちは) 平素はラティナー製品をご愛用賜り誠に有難う御座います。
南米製品を主力商品として取り扱っている当社より、これから定期的に南米の產品のご紹介や現地の様子を皆様にお伝えします。

【お問い合わせ : 03-3738-5017】

ニュース

エルニーニョ

ペルーの農林水産大臣は、今年エルニーニョが同国の北岸に大きな被害をもたらす可能性が高いと述べた。アンデス山脈では既に対策が行われており、栽培地域の灌漑システムの調整や農家らを被害から守る対策がなされている。予想される被害は大量の雨、気温の上昇、土壌侵食、害虫の増殖、などであり、これらは農産物へ直接的なインパクトを与えるだろう。流通面においても洪水により道路がふさがれる可能性もある。農業灌漑省や農畜産品衛生管理機構は、害虫や病気対策に早くも取り組んでおり、農学者や技術者を送り込んでいる。エルニーニョの影響は 2016 年 4 月まで続く見込みであり、2 月には 35℃の記録的な気温が予測される。そうなれば南岸地域に干ばつが起こり得るとのこと。

グラビオラ又はグアナバナ (*Annona muricata*)



癌を治すと言われるこのフルーツにはアンノナシンという化合物が含まれており、これは細胞障害に効果を発揮する。グアナバナは肺や乳、結腸、腎臓、膵臓、胃の癌治療に用いられるほか、抗菌作用もある。それだけでなく、アストリンゼント効果や鎮痛剤、血管拡張剤としての役割も果たす。人々は精神的に不安定な状態やうつ病の時、緊張している時などに食すことが多い。国によっては、風邪をひいた際の痛み止めや解熱剤として摂取することもある。甘い果実であるためジュースやスイーツ、ケーキ、ヨーグルトでの摂取が一般的であり、冷凍のパルプやシロップ、ピューレ状で購入が可能である。また、種を磨り潰したものや葉、茎、根なども使用されることがある。



チア市況

前述したエルニーニョの影響はペルーのみならず、チアシードの生産地であるメキシコやボリビアでも被害は見られている。メキシコでは 8 月末から数週間に亘り雨が不足しており、チアシードの成長が遅れている一方、ボリビアでは気温の乱高下が続いているほか、例年に比べ雨の量が多いことから、病害を懸念し収穫を早めた生産者が多発した。14'Crop のキャリーオーバーを受け、今年の栽培は世界的に減少傾向にある。また、一攫千金を狙い昨年チアシードに目を付けたプレイヤーらは今年は減り、サブライサイドも安定してきている模様。ビッグプレイヤーらはホールチアだけでなく、加工品や付加価値をつけた商品の開発・輸出に力を入れていることから、今後は店頭でチアシード原料を使用した商品が並ぶことが期待される。